

【指定管理者選定委員会議事録の記載事項】

<旭区地区センター等指定管理者選定委員会（第4回）>

- (1) 日 時 平成17年9月22日（木） 9：30～10：30
- (2) 場 所 旭公会堂 1号会議室
- (3) 出席者 足立委員、小澤委員、中鹿委員、兵藤委員、市原委員、見上委員
- (4) 傍聴者 有

<議事内容>

| | | |
|---|--------|--|
| 1 | 議題（概要） | ・希望が丘地区センターの指定管理者の候補者の選定 |
| 2 | 委員意見等 | <p>(1) プレゼンテーション後の質疑応答</p> <p>改修オープン後の管理運営に関して、敷地内のゲートボール場や体育室の管理方法、また、自主事業内容、職員の研修体制への質問などがあった。</p> <p>(2) 審議</p> <p>(委員) 地域性を理解し、利用者・地域住民との交流に努力してきたと感じた。</p> <p>(委員) 30年の実績は一定の評価ができる。特に地域運営委員会との関係や280にも上る登録団体とのかかわりは今後の事業展開にも寄与するのではないかと。</p> <p>(委員) プレゼンや質疑を聞くと再開後も良好なサービスを提供できると思う。</p> <p>(委員) 地域との交流が長く、この経験を生かした運営が期待できる。しかし改修後の見込みについては希望的な観測が多く疑問も多い。</p> <p>(委員) 新しい施設での利用管理、シュミレーションは不十分ではないかと。</p> <p>(委員) 音楽室の利用方法について柔軟に考えている点は評価したい。</p> <p>(委員) 利用者からみると飲食コーナーの拡大を検討してほしい。</p> <p>(委員) 希望が丘地区は文教地区として位置づけられているが、その特徴を活かしきれていない。</p> <p>(委員) 自主事業については具体性が足りないと思った。</p> <p>(委員) 30年の伝統があり、継続事業だけでもやっていける安定感はある。</p> <p>(委員) 改修オープン後の運営について未確定な部分が多いが、協会のやる気に期待する。</p> <p>最終的には、単独応募のため団体間の点数比較はできなかったが、全ての委員の採点結果が6割を超えていたこと、管理運営に大きな支障となる事項もないことから、全委員が一致して選定した。</p> |
| 3 | 審議結果 | ・優先交渉権者：旭区区民利用施設協会 |

<その他> 特になし